

施策	7103 市民活動の推進							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民団体等							
施策が目指す姿	社会貢献活動を行う市民団体等への財政支援、自治会活動への支援充実、市民活動推進センターの管理・運営等を図る。							
成果指標	市民活動推進補助採択件数.....5年間（平成25年度～平成29年度）で年度あたり44件（現状値35件）							
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [件]	予定	35.00	37.00	40.00	42.00	44.00	
		実績	42.00	30.00	35.00	28.00	31.00	
	成果指標2 []	予定						
		実績						
	成果指標3 []	単位コスト						
		予定						
	成果指標4 []	実績						
		単位コスト						
	トータルコスト (千円)	予定	98,593	104,921	93,875	102,438	114,462	
実績		98,422	106,412	105,478	120,086	112,360		
内 部 評 価	貢献度	上位施策の目標指標「住民参加の満足度」を目標値70%に向上させるには、市民の協働によるまちづくりへの参画が不可欠であり、本単位施策の目標達成による貢献度は高い。						
	達成状況	事業開始6年目となり、申請件数及び申請額は概ね安定している。審査員による審査を行い、より公益性のある、効果が高いと思われる事業について、予算の範囲内で採択した。						
	課題	各地域で行われている市民活動等を、より公益性のある活動に発展させるため、事業の充実や地域間交流が図れる事業になるよう促すことが必要である。						
	取組方針	とちぎ夢ファールの資金確保のためPRを継続実施するとともに、新規利用開拓のため、くらはを活用した制度・団体・イベント等の情報発信に努め、申請方法の見直しを行う。						
外 部 評 価	<p>指標である「市民活動推進補助採択件数」であるが、目標値に対し、採択件数は下回る結果となっている。予算等もあり、難しい面もあると思われるが、市民活動は、市にとって重要な役割を担うものであると思われるので、予算の増額も含め検討願いたい。また、市にとって有益な市民活動を増やすためにも、採択事業の成果の把握に努めるとともに、他市の事例なども参考に事例集を作成してみたい。</p> <p>今後、買い物弱者や要介護者世帯なども増えてくると思われるが、そのような地域課題に対し、地域市民が解決するような市民活動の推進を図るべき。</p>							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	110101	市民総合賠償補償保険事業費				4,054	100	
	110201	市民活動推進センター管理運営費				18,555	100	
	110301	市民活動保険料				2,033	100	
	670101	自治会活動支援事業費				59,466	100	
	670401	市民協働まちづくりファンド積立金				2,503	100	
	672402	まちの駅ネットワークおおひら運営補助金				1,200	100	
	674802	まちづくりスキルアップ委託費				978	100	
	744101	コミュニティ助成事業費				16,500	100	
	672901	市民活動推進補助事業費				7,071	90	
736605	バーベキュー広場整備事業費(西方地域会議)					0		

平成29年度 単位 施策評価表 補表

施策	7103 市民活動の推進		
区分	妥当性	妥当	協働のまちづくりにとって市民団体の活性化は基本となるものであり妥当と考える。
	コスト削減の余地	有	市民協働まちづくりファンドの状況によっては、ファンドからの繰入増により、一般財源での負担を軽減できる。
	受益者負担	適正	市民団体にまちづくりへの参画をお願いすることから、現状が適正であると考えられる。
	上位貢献度	有効	協働のまちづくりを目指す本市にとって、まちづくりのベースとなる市民団体の活性化に寄与することは有効である。
	類似事業の有無	無	類似の事業はないと思われる。
	成果向上の余地	有	市民団体の自立を促進し、各地域において協働のまちづくりの担い手の中心として活性化させる。
内部評価 【H29年度分】	貢献度		
	達成状況	市民活動推進補助採択件数は横ばいであるが、申請団体数が微減であった。	
	課題		
	取組方針	申請団体数や地域の偏りを勘案し、事業へ申請する団体の新陳代謝が行われるよう、実施方法・周知を検討する必要がある。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	市民団体への財政支援への財政支援や自治会活動への支援充実、市民活動推進センターの活動等が活発になることで、主体的な住民参加が増加し、結果的に基本施策の目標指標「住民参加の満足度」が向上する。	
	達成状況	成果指標の「市民活動推進補助採択件数」は、目標数を下回ったが、一定の件数を採択することができた。また、その内容については、公益性が高く効果が高いと思われる事業を審査により採択した。	
	課題	市民活動については、活発な活動が行われるよう事業の周知を図るとともに新規団体の掘り起こしを進める必要がある。	
	取組方針	事業の周知を継続して実施し、とちぎ夢ファーレの資金確保と新規団体の掘り起こしを図っていく。また、新規利用者のための申請方法の見直しや、公益性・効果を高めるため事業内容を検討する。	